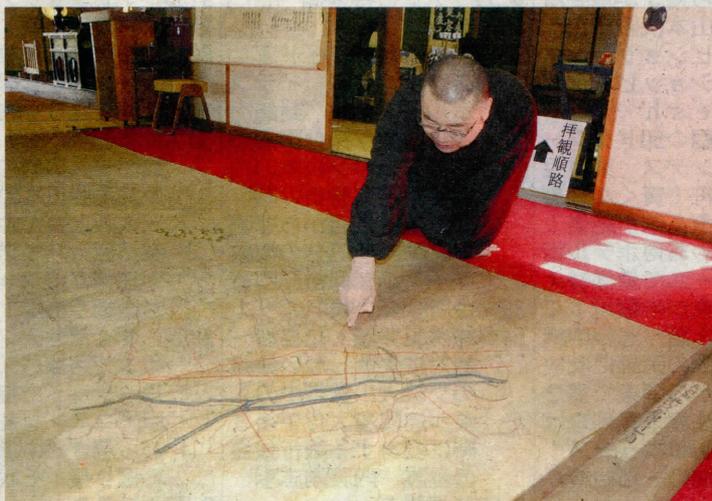


明治の地形 詳細に

「諏訪郡四賀村全図」公開へ 15日 無料



仏法紹隆寺に寄進され、15日に一般公開される「諏訪郡四賀村全図」

明治時代の四賀村(現・諏訪市四賀)の地形が詳細に記された「諏訪郡四賀村全図」が15日から、同市の仏法紹隆寺で公開される。先祖から地図を受け継いできた檀家の矢崎宣利さん(東京都)が「今後は地域の宝として保存してほしい」とに寄進。隣村との境界線やかつての地名などが記されており、岩崎宥全住職(47)も「明治時代の四賀を知るには貴重な資料がなかなか珍しいのではないかな」とうなっている。(作増唱)

地図を寄進した宣利さんは、大学進学と同時に諏訪を離れ、現在は都内で歯科医院を営むの印が残されている。

縦4・8尺×横1・6尺もの和紙に四賀村の全景が描かれた巨大な地図。現在の国道20号線にあたる道路や上川の姿が見られるほか、山間部には「役行者」「婦夫石」などの地名が記されており、一部は住職も聞き慣れない名前だという。片隅には「明治26年5月調製」の記述と、矢崎宣利さんの曾祖父にあたり四賀村長も務めたとされる利隆さんの印が残されている。

でいる。宣利さんが母親から伝え聞いた話では、地図は村の人が土地を売買する際に、どこが誰の土地であるのか判断するために使われたものだったという。「心の中で諏訪を離れたこと後ろめたさのようなものがあつたが、これで少しでも諏訪との絆が保てただけならそれに勝る喜びは

仏法紹隆寺 檀家が寄進

を無料公開し、その後も31日まで拝観者に向けて展示を続ける(拝観料500円、檀家無料)。午前9時～午後4時、月曜日休館。岩崎住職は「みんなの地図なので広く活用してほしい」と話し、今後は必要に応じて小学校や公民館へ貸し出すことも検討しているという。問い合わせは岩崎住職(電話090・9040・0646)へ。